

2022年6月16日

各位

株式会社クシム
(東証スタンダード市場：2345)

秘匿計算技術研究および次世代型NFT（シークレットNFT）の実現 に向けたプロジェクト開始のお知らせ

当社の戦略子会社である株式会社web3テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役：橋本欣典、以下「web3テクノロジーズ」）及びチューリング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：三瀬修平、以下「チューリング」）は、Secret Network をベースとした秘匿計算技術の研究開発、および秘匿計算技術を応用した次世代型のNFT（シークレットNFT）事業を開始します。

1. 本プロジェクト発足の背景

日本政府は、2022年6月7日、「経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太方針2022）」を閣議決定いたしました。骨太方針には、「より分散化され、信頼性を確保したインターネットの推進やブロックチェーン上でのデジタル資産の普及・拡大など、ユーザーが自らデータの管理や活用を行うことで、新しい価値を創出する動きが広がっており、こうした分散型のデジタル社会の実現に向けて、必要な環境整備を図る」と明記されております。

加えて、日本政府は、特定のサービスに依存せずに、個人・法人によるデータのコントロールを強化する仕組みを「トラステッド・ウェブ（Trusted Web）」と表現し、トラステッド・ウェブの実現に向け、機能の詳細化や国際標準化への取り組みを進めると述べています。また、「ブロックチェーン技術を基盤とするNFT（非代替性トークン）やDAO（自律分散型組織）の利用等のWeb3の推進に向けた環境整備の検討を進める」としております。

このように、Web3の環境整備について国策として本格化する意思を示していると当社は認識しております。

2. 本プロジェクトの狙い

現在、ブロックチェーン・Web3領域は大きな成長の期待を集めているものの、その根幹となっているブロックチェーンはオープンなデータのネットワークであり、すべてのデータが他のユーザーによって取得・閲覧可能な状態になっており、非分散型の従来のアプリケーションのようなユーザー情報の保護は難しくなっております。こうした状況に対し、ユーザーの情報を保護する秘匿計算技術は、Web3のユースケースを拡大し、より幅広く利用されるための鍵となる技術として活用できます。

上記の課題認識から、当社は、秘匿計算技術はWeb3・メタバース経済の拡大を見据える中での最重要技術領域の一つと位置づけ、専門のプロジェクトチームを組成するに至りました。

Secret Network はハードウェアの秘匿性を利用してユーザーのデータを保護することのできるパブリックブロックチェーンであり、Web3アプリケーションに重要なスマートコントラクトの実行機能も備えていま

す。また、秘匿計算技術は、連結子会社であるチューリング株式会社創業時からの専門分野であり、同社からの技術的支援など連携することで明確なシナジーが期待できます。

3. シークレット NFT について

Web3 経済の拡大に伴って NFT 市場は急成長しているものの、データが秘匿されないブロックチェーン上では誰でも NFT のデータにアクセスすることができます。それにより、NFT の価値を損ねたり、ユースケースを制限している場合があります。例えば、絵画等のアートを対象とした NFT (NFT アート) では持ち主と同じアートのデータを別の第三者が保有することができてしまいます。

シークレット NFT は、秘匿計算技術を利用することで NFT のデータを取得できるユーザーを制限することができ、NFT アートであれば、本物のアートのデータを持ち主のみが取得できるように制限することが可能です。

シークレット NFT は、NFT アートだけではなく、個人情報やパスワードなどを NFT に乗せることができるため、医療分野や偽造防止技術など、これまでの NFT の活用を超えるエンタープライズ用途に応用可能な次世代型の NFT です。

4. Defi やゲーム分野での戦略的提携も計画

本プロジェクトチームは、シークレット NFT の研究開発だけではなく、DeFi 分野などにおける海外プロジェクトとの提携も同時に進めておりますので、今後ともご期待ください。

【お問い合わせ先】

株式会社クシム

URL : <https://www.kushim.co.jp/>

株式会社チューリング :

URL : <https://turingum.com/>

以上

